



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2014年
7月号
2014.7.26発行
第153号

オリーブ20周年によせて

代表 恩地美和

1994年7月9日、オリーブは日本語教室として誕生しました。1990年の入管法改正でたくさんの日系南米人が日本で働くようになり、草津の町にもブラジル食材専門店ができたほど。町を歩けば、こここでポルトガル語やスペイン語を耳にしたものです。

この頃わたしは草津市国際交流協会の事務局で仕事をしていましたが、当時の国際交流といえば、姉妹都市と行き来をすることがメインで、地域に暮らす外国の人たちには目が向けられていませんでした。

ここに、こんなにたくさんいる外国人と交わってこそ国際交流じゃないか、彼らと近づきたい、困っているなら手助けしたい、と同じ思いの人たちと立ち上げたのがオリーブです。

あれから20年、よく続いたなと思います。ボランティアの先生たちをはじめ、いつも支援してくれる人たち、オリーブを好きになって通ってくれる外国人たちがいたからこそです。いろんな出会いと別れがありました。世の中の流れにそってオリーブに来る人たちの顔ぶれも変化します。

でも、いつでもオリーブには、信念がある。日本語を学びたいと来る人たちにできるだけ力を貸したい、ここに住んで良かったと思ってほしい、先生と呼ばれるけれど、わたしたちは友だちとして傍らにいる。そんな場所がオリーブなんだと。

みなさん、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



中川先生のへんてこ日本語 聞き取り名人

④8



皆さんはよく、スタバなどのコーヒーショップを利用されるだろうか。「あの白いランプの下でお待ちください」というのは、日本国内はもとより、万国共通なのだろうか、という疑問がわいた。

先日中国・広州へ講演に出かけ、ホテルの近くにあるAEON系スーパーへ行ってみた。買い物済ませレジへ進むと、店員さんが笑顔で「有没有AEON卡(AEONカードはお持ちですか)」と聞いてきた。「没有」(ありません)と答え、勘定をすると、釣銭のお札を数えながら手渡してくれた。そして最後には「またお越しください」と笑顔で対応してくれたことにすっかり感激した。

気分よく、スタバに立ち寄り、コーヒーを注文すると、先ずサイズを聞かれた。そして「あの白いランプの下でお待ちください」と、お決まりの流れである。

店員さんの中国語がすべて聞き取れたわけではないが、状況から何を言っているのかは見当がつく。聞き取りというのはそのようなもので、母語であっても発話の一部始終を聞いていくわけではない。たとえば駅のアナウンスなどでは、電車が自分の行きたい駅に停まるかどうか分かれればそれでいいのではないか。

これは日本語の聞き取り練習としても重要で、発話全体を聞かせるから、細部にわたる質問をするというよりは、最初に質問を与えておいてから聞かせるという方法もある。

我々が聞き取っているのは、自分にとって必要な情報だけであって、不要な情報は流し去っていることは先にも述べた通りである。もう一つ重要なことは、発話には必ず状況があるはずだから、状況が設定されると、聞き取りやすくなるということである。先のスーパーやスタバでも全く同じ展開が日本でも(他の国でも)行われているので、聞き取れるというのは、自信につながるであらう。

ちなみにかのスーパーでは、相当な訓練を受けているそうである。店員さんから笑顔をもたらした一日であった。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

ボランティアフェスタ *Let's Start Volunteer!*

2014年6月27日(金)12:00-17:00

立命館大学セントラルアークにて

立命館大学サービ斯拉ーニングセンターで開催されたボランティアフェスタに行ってきました。「災害支援」「街づくり」「国際」「環境」「子ども」「障害」、様々なジャンルの26団体が参加、お昼休みから学生達でにぎわう大きなホールを会場に、ガイダンスやトークショーで盛り上げました。

「+Rな人」を合い言葉に、立命館大学では学生生活をより充実したものにするべく、地域や社会とつながる自主性をとても重んじているようです。このイベントも学生コーディネーターがすべて企画、きめ細かい対応に、スタッフの熱い意気込みが感じられて、とても頼もしく思いました。我々オリーブからも二人の生徒さんが参加くださり、中国へ留学したという学生さんと中国語で歓談されるシーンもあり、国や言葉や職業を越えてつながっている姿は、なんだかいい雰囲気でした。見学希望される方も何組かおられ、先生確保と記念パーティーへの宣伝も出来たかと思えます。

いつもの教室からプチ出張、改めてオリーブでボランティア出来る喜びをかみしめ、パワーを充電(若い力+学食おろし豚かつ)の一日でありました。

Byさのちん



初めての経験でしたがおもしろかったです。ちょっと疲れたけどオリーブのためにがんばりました!



楽しかった。みなさん、オリーブにきてください。

参加して下さったお二人からコメント♪

ちょこっと訪問 「中国語サークル」



今天你说
汉语了吗？

南草津に中国語を学ぶサークルがあります。実はこのサークル、オリーブで2003年に開催していた中国語講座が発展したものなんです。かつてオリーブでは外国の人から学ぼうと、サンバチームやサルサ教室、イングリッシュ・ナイトなどいろいろな教室外活動を盛んに行っていました。



中国語講座はオリーブに熱心に通ってくれていた史雲香さんをお願いしてはじめたものです。それを一般参加されていたKさんが引き継いでもう10年以上続けていらっしゃいます。現在の生徒は7名、40代～60代後半という構成、うちビジネスマンが3名だそうです。教室で話して下さったある男性技術者の方は、間に通訳を介さずに技術の話ができるようになることを目標に中国語を学んでいるということでした。まだ日常会話のレベルだけど、中国人と話が通じて以前より交流が深まってきたそうです。

Kさんによると、一応「中級クラス」としてはいますが、史先生が各人のレベルに応じて会話や質問のレベルを変えられるので、初めての方でもすぐに上達されるそうです。史先生の人柄と授業の面白さから、一度参加されると長く続けられる方が多いとのこと。史さんとなが～い友だちの私にはよーくわかります。

史さんは、まじめで率直で親切で、そのうえお笑い要素の垣間見える一緒に勉強するのが楽しい生徒さんでした。見学にうかがったこの日も、まず史先生が文法を日本語で説明され、生徒ひとりひとりに中国語で質問していましたが、それは和やかな雰囲気でした。私は早くに中国語習得をあきらめたけど、ここに来たらまたやりたくなりました。

追記：史さんは7月20日のオリーブのパーティの為においしい餃子を300個も作ってくれました！！多謝！

場所 フェリエ南草津5F 市民交流プラザ
毎週水曜日、19時15分～20時45分
費用 月4000円～6000円程度
※見学はいつでも歓迎。興味のある方は
岸本さん 090-8445-5310（夜間のみ）まで。
<レポート 恩地美和>



子どもくらぶ「たんぽぽ」15周年シンポジウムに参加して ②

5月24日（土） 草津支援センターにて

「ずっと友だちがいなかった」

レポート 小春 京子

シンポジウムでは、3名の「たんぽぽ」卒業生が来て、これまでの思いを語ってくれました。もちろん今は立派な社会人として働いておられます。

小学校就学前に来日したOTさん。日本語は知らぬうちに覚えていたとのこと。が…

「小学校1、2年の時は良かった。担任の先生も頻りに家庭訪問して下さり、勉強もついていけたし不安はそんなになかった。けれども、小3からだんだんと友だちが私のことを『外国人だ』と認識するようになってきて、違う目で見られるようになった。結局、小学校3年生からは、ずっと友だちがいなくて、昼休みも一人で、性格も暗かった。そんな時、たんぽぽで外国籍の友だちと出会った。初めてできた友だちだった。すごくうれしかった。」その後、当時問題の多かった“いじめ”を心配したご両親からカトリック教の私立中学への進学を勧められたそう。そして「中学に入ったとたんガラリと周りの環境が変わった。外国人である自分への反応が『すごい、ペルー！？ スペイン語が話せるの！？ ペルー料理ってどんなの！？』と、自分にプラスの興味を持ってくれた。私の性格も明るくなり、成績も良くなっていった。中学時代の友だちは今でも続いている。」

そして、OTさんは、大学、大学院を卒業後、現在フリーの通訳の仕事をされています。「先生や周りの人のサポートなしでは中学受験はもちろん大学進学も難しかった。」と振り返っておられました。

「彼女は、自分の努力もあって今このような姿になっておられる。けれども、彼女は成功されたほんのひとにぎりの方。」たんぽぽメンバーの方は痛い現実を見ておられるようです…。 （つづく）

先月の活動(6月)



日本語教室 6/7(M), 14, 21, 28(4回)
 パーティ会議 6/7, 28
 BNN 会議 6/1(日)(佐野)
 草津市市民公益活動団体連協 6/5(木)(恩地)
 まちセン運営協議会全体会 6/17(火) (田中一)
 立命館大学ボランティアフェスタ 6/27(金)(恩地, 重松, 佐野, 松本, 張)
 まちセン星座学習会準備 6/28(田中一)
 まちセン星座学習会 6/29(田中一)

今月の活動予定(7月)



日本語教室 7/5(M), 12, 19, 26
 パーティ会議 7/5, 12 17:30~19:00
 パーティ準備 7/19 15:00~21:00
オリーブ 20周年記念パーティ 7/20(日)
 BNN 会議 7/12(土)(佐野)
 草津市市民公益活動団体連協 7/9(水)(恩地)
 KIFA 広報部会 7/13(日)(恩地)
 まちセン運営協議会施設部会 7/17 (田中一)
 BNN 指導者養成講座 7/27(日)(佐野ほか)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略

お知らせ

参加人数 (6月)

	6/7	6/14	6/21	6/28
先生	15人	16人	18人	18人
生徒	20人	20人	32人	21人



7月20日オリーブ20周年記念パーティを無事終える事ができました。総勢約170名の参加で会場は熱気むんむん。パーティの詳しいレポートは次号8月号で報告します。

お楽しみに!!!

会員の動き (6月)

- <入会> 4名
- <退会> なし
- <賛助会員> なし



(堀野善康さん)

はじめまして！堀野善康といいます。よしと呼んで下さい。大学では英語を勉強して、留学生ともたくさん交流したので、やる気だけは一人前だと思います(笑)。日本語を教えることはとても難しいと思いますが、精一杯頑張るのでよろしくお願いします。



(内田幸夫さん)

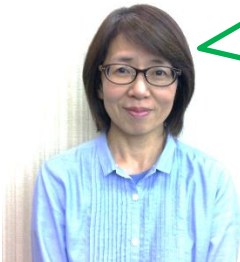
第二の人生を充実させたいと思い、会社退社後、日本語教師養成コースを終了したので、その時学んだことを少しでも役立たせたいと考えています。どうぞよろしく。



(ケン・ヒュー・クイさん)



これまで6年間の日本語学習歴があって日本語学習者にとって各段階で分かりにくいところ、よく間違える所などを理解できるといふ強みを持っています。この強みを活かして日本語学習者の皆さんのために役立てればとおもいます。何卒よろしくお願いします。



(杉山美子さん)

日本語指導の経験はないのですが、これから勉強していきたいと思えます。私も3年間外国で生活していたこともあり、日本在住の外国の方の役に立てたらと思えます。出会いを大切に！

編集後記

20周年記念パーティと7月号の発行を比べれば、何と言ってもパーティが優先！ということで、遅れてしまいましたが、なんとか出来上がりました。パーティに来てくださった方たちからオリーブの雰囲気の良い、スタッフの笑顔に多くの賞賛のことばをいただきました。みなさんのおかげです。感謝、感謝でございます。ほんと、疲れたけど盛会でよかった！また通常授業もよろしく～。次回のイベントもよろしく～。 (MO)